

自由民主党市議会だより

令和4年6月

発行 自由民主党静岡市議会議員団

静岡市葵区追手町5-1

令和4年度
臨時
号

▶はじめに、ロシアによるウクライナ侵略に対して強く抗議します。ロシア軍の残虐行為は断じて容認できません。武力による現状変更の試みは、ロシア・中国・北朝鮮を隣国に抱える我が国にとって対岸の火事ではありません。改めて**外交と国防**の重要性を痛感しました。そして、新型コロナウイルス感染症との戦いも未だ終結していません。引き続き市民の**命と暮らし**を守る施策に国・県・市が一丸となって取り組む1年となります。

▶さて、昨年度は市議会本会議において、「**デジタル**」と「**グリーン**」をテーマに論戦を展開しました。

▶まずは**デジタル（DXによる防災減災対策）**について。東日本大震災から10年目の節目に実施された市議選を通じて、最優先課題が市民の安全・安心に資する防災減災対策であることを再認識しました。とりわけ清水区においては**防潮堤**をはじめ様々な防災インフラの強靱化が必要ですが、加えて令和新时代には先端技術を駆使したデジタルによる災害対策が不可欠ではないでしょうか。本市では、令和3年度の組織機構改革で局長級ポスト「デジタル統轄監」そして「デジタル化推進課」を創設しました。当課を通じて縦割り組織の壁を乗り越え、令和4年で本市のDXを象徴する「**災害時総合情報サイト**」構築を目指します。

▶次に、**グリーン（グリーン社会の実現）**について。本市では、昨年夏、行政・市内経済界・学識経験者・市民団体で構成する**脱炭素社会に向けた官民連携協議会**が発足し、国や市に対する意見や必要となる支援策が取りまとめられました。その結果、4月25日には環境省より静岡県内で唯一となる**脱炭素先行地域**に選定されました。今後は清水港の遊休地を活用した「災害に強く環境にやさしいエネルギーの分散化」などの環境施策により、清水区の産業構造や社会構造に新たな変革をもたらす、地域活性化に寄与するものと考えております。

▶また、グリーン社会の実現には、市民1人1人の行動変容と、人材育成が鍵となるとの考えのもと、私は「**動植物園構想**」を提案しました。観光施設や、都市緑化機能に資する都市公園施設としての機能に加え、**カーボンニュートラル**の視点を加えた、まさに環境教育に資する社会教育施設としての整備を目指しております。本年度は自民党市議団で調査研究を重ね、次期総合計画に盛り込まれるよう政策提言を続けてまいります。

▶結びに、我々は今、時代の転換点に身を置いています。コロナ禍を奇貨とし、歴史から学び、未来を切り開く自覚のもと、市議会議員としての職責を果たしてまいります。また、政策の実現には皆様のご理解とご協力が不可欠です。市民の皆様に対する真摯な姿勢と丁寧な説明を常に心掛けていく所存です。

静岡市議会議員
堀 努



1月29日、清水忠霊塔がリニューアル。階段下に並んでいた記念碑が山頂に再配置されました。眼下に広がる美しい景色を眺めつつ、ゆっくりと慰霊が出来る地へと生まれ変わりました。



3月1日、静岡市議会はロシアによるウクライナ侵略に抗議する決議案を全会一致で可決しました。ロシア軍の即時かつ無条件での完全撤退を強く求めます。

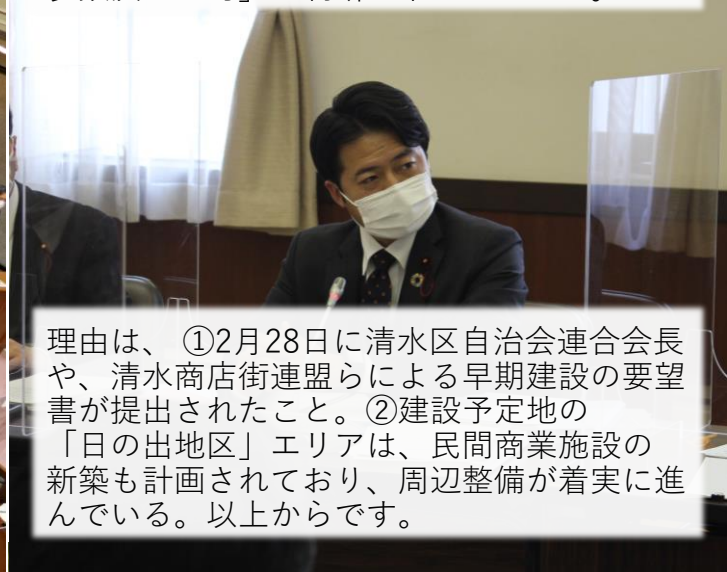


地元悲願の中部横断自動車道「両河内スマートIC」予定地を連合自治会役員らと視察。今年度中に静岡市はNEXCOと基本協定を結び、事業着手する運びとなります。

1月31日、ここは「お茶会館」裏手から「日本平ホテル」手前、静岡市が整備を進める「平原ゾーン」というエリアです。極楽浄土を描いた重文「富士曼荼羅」と同じ構図で、三保松原・駿河湾・清見寺からの富士山を拝む事が出来ます。整備途中ですが、一般の方でも立ち入る事が出来ます。また、賓客が来静した際の記念植樹も可能となりました。



3月10日、「海洋地球総合ミュージアム」の事業再開の是非を委員会で討論した結果、多数決で「可」の判断が下されました。



理由は、①2月28日に清水区自治会連合会長や、清水商店街連盟らによる早期建設の要望書が提出されたこと。②建設予定地の「日の出地区」エリアは、民間商業施設の新築も計画されており、周辺整備が着実に進んでいる。以上からです。



147年の歴史に幕を閉じた清水西河内小学校を視察。校舎は市内で1番新しく平成8年の完成です。今後は老朽化に伴い休館中の和田島少年自然の家を移転する計画で、令和6年度の移転完了を目指します。